

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1.オリエンテーション(各担当教員) 演習の概要について説明し、その履修方法や演習の目的、達成の目安、評価の内容と方法を説明する。 2.看護総合演習は看護総合実習の事前事後演習として位置づけ、看護総合実習に向けて学生個々の課題(事例)を明確にする。学生は既習の専門知識の整理・統合を図りながら、課題(事例)への適切な介入および必要な看護技術について、確認し熟達を図る。 3.課題(事例)解決に向けて、看護総合実習の実習計画書を立案する。 4.看護総合実習の成果を基に、レポートを作成する。 グループ間で発表を行い、意見交換し、看護総合実習における実践を考察する。	ゼミごと(6-7名の小グループ)で運営する。担当教員と調整しながら学生たちが主体的に学習活動を開展する。	学生が主体的に課題を探索し、学習する。	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでの臨地実習・演習における看護実践を振り返り、必要な事項は学習しておくこと			
テキスト	指定なし。必要に応じてプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	課題に応じて主体的に文献を探索する。必要があれば、担当教員が紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	社会に出て活躍できる看護職者としての看護実践能力、人間力を養うために、自己の課題に向き合い、主体的な学習を期待します。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	学習活動は、すべて学生が主体的に計画することを原則としています。自ら積極的に学習し、グループ間で課題を共有し、討議・検討を進めていただきたい。 評価については、一連のプロセスにおいて演習に対する各自のテーマ設定や取り組み姿勢も含めて最終評価し、個別にフィードバックします。			

